Camera Report

カメラ・リポート

街 まち 町

12日 二十歳の誓い 新成人祝賀会を開催

総合体育館で、千八百四十四人の新成人を祝う「平成二十六年新成人祝賀会」が開催されました。

式典では、新成人の代表が「一人一人の無限の可能性を信じて、明日に向けて進む」と二十歳の誓いを述べると、市内の保育園児から花束が贈られました。

式典後、晴れ着に身を包んだ成人らは久しぶりに会う友人の姿に歓声を上げ、思い出話や近況報告に花を咲かせていました。

11日 まちを守る決意新たに 消防出初式で一斉放水

市では、消防本部や消防団、自警団など約五百三十人と車両四十五台が参加して、消防出初式を曙グラウンドで開催しました。

女性防火クラブ会員による水消火器の一斉放水に続き、はしご車を中心に消防車両から一斉放水が行われると、新春の空に壮大な水のカーテンが描かれました。

参加者らは、式の最後に全員で「火の用心」を三唱し、今年の無火災、無災害を祈りました。

3日 「田遊祭」で五穀豊穣を祈る

一宮町の砥鹿神社で、田遊祭が行われました。これは、年の初めに、稲作の過程を模擬的に演じることで、五穀豊穣を祈るものです。

境内には、田んぼに見立ててサカキの葉が約五メートル四方に敷き詰められ、野良着姿の農夫にふんした氏子たちが、田打ちから稲を収穫するまでを演じました。

初詣客らは、農夫たちの姿に声援を送ったり、カメラを向けたりして、祭礼を楽しんでいました。

1月

24日 豊川高校野球部 悲願の「春」に歓喜

第八十六回選抜高等学校野球大会の出場校三十二校が決定し、東海地区からは豊川高校が、創部六十八年目にして初の甲子園出場を決めました。市内の高校が甲子園に出場するのは、昭和五十年夏に国府高校が出場して以来です。

校長がグラウンドで待つ部員らに決定の報告をすると、日々練習に励み、悲願の「甲子園切符」を手にした部員らは、帽子を空高く投げ、喜びを爆発させました。